



# 夫<sup>あ</sup>妻<sup>した</sup>へつなぐ

Vol.  
159

文 / 本間 吾里砂

通勤・通学で初めてJRを利用するお客様にも、駅や列車の利用マナーを周知「駆け込み乗車」の危険性を伝え、ゆとりある乗車の呼びかけも

## 利用マナー向上に努め より快適な鉄道へ

JR北海道では、駅や列車を利用するすべてのお客様により快適な環境を提供するために、マナー向上に関する取り組みを実施しています。

とくに新年度となる四月は、通勤・通学などで初めてJRを利用するお客様が増えることもあつて、利用マナーの周知に努めています。

ホームページの「JR北海道マナーガイド」では、お客様から多く寄せられる声をイラス



トつきで掲載しています。たとえば、混雑緩和に向けたマナーについては、「ドア付近に立ち止まらず、奥までお進みください」「リュックサックは手に持つてご乗車ください」などの

文言を添え、それらの内容をイラストで表現。「座席に手荷物を置くことはご遠慮ください」「音漏れしない程度の音量でお楽しみください」「車内での通話のご遠慮ください」などその多くは他のお客様のご迷惑にならないためのマナーガイドとなつていますが、中には

お客様自身の安全に大きく関わるものもあります。その一つが「駆け込み乗車」です。

## お客様の安全にも関わる 危険な「駆け込み乗車」

列車のドアは、エレベーターのように閉じかけのドアに「カバン」や「カサ」を差し込んで自動的

に開くことはありません。そのため、「カバン」や「カサ」はドアに挟まれ、その持ち主であるお客様自身も列車に引きずられてしまう恐れがあります。また、

列車は定刻発車に向け、乗務員やホーム係員によるホーム上の安全確認を経て、発車直前にドアが閉まります。ドアが閉まるとドア横の開閉ボタンも消灯し、ボタンを押してもドアは開かない仕組みになっています。まさに列車が動き出すというタイミングのときに車体に手を触れたり、並走してしまうと、お客様自身のお怪我につながるだけでなく、乗務員が危険と判断し、列車を急停車させることにより、車内のお客様も危険にさらされてしまいます。ゆとりある乗車をお願しているのは、マナーだけでなく、お客様を事故から守ることも大きな理由です。